



まがたま
ひすい製の勾玉

栄華を誇った 大隅の地



たんこう
しょうかくつきがせと
短甲・衝角付青

大昔から人々が 暮らしていた鹿屋

現在、本市には約10万人の人々が生活していますが、いつ頃からこの地に住み始めていたのでしょうか。その疑問の答えは、大昔に暮らしていた人々の生活の跡である遺跡から、発掘調査を通して垣間見ることが出来ます。

これまでの発掘調査の結果に

よって、鹿屋の地には1万年以上前から人々が存在していたことが分かっています。その時々には生きた人々も、現在のようにふるさとを愛し、未来を夢見たことでしょう。

歴史解明が進む中、特に成果が大きい時代が古墳時代です。約1,600〜1,400年前に作られた権力者の墓から、当時の勢力を知ることが出来ます。県内唯一の装飾が施された刀や、500以上の古墳から、当時強い権力者が存在し、大隅地域で活躍していたことが想像されます。また、県内では大隅半島にのみ存在する前方後円墳がある岡崎古墳群等も当時の栄華を物語っています。

古くからの歴史が残る鹿屋の地には、悠久の時間をかけて多くの先人たちが築き、守り、伝えてきた伝統行事があります。その技を受け継ぎ、未来へ伝えていくために郷土芸能に携わる人々。彼らは様々な想いを胸に活動を行っています。

なかおちかしき
中尾地下式
よこあなぼくぐん
横穴墓群出土品

※写真のものは全て
歴史民俗資料室（串良ふれあいセンター内）に展示

岡崎古墳群 ～国指定史跡を目指して～



岡崎古墳群は串良町岡崎に所在し、前方後円墳2基と円墳等からなる古墳群。これまでの発掘調査で、ひすい製の勾玉や鉄製の刀などの武器類も発見されています。また唐仁古墳群（東串良町）や塚崎古墳群（肝付町）との対比により、大隅地域の古墳時代を理解するために重要な存在であるとされています。古墳の周りの溝に九州南部独特の形の墓を造るという特徴は、大和政権（朝廷）からの文化と地域色豊かな文化の融合を示す証拠として大変貴重なものです。



そば切り踊り



祓川町八月踊



下平房棒踊り



重田棒踊り



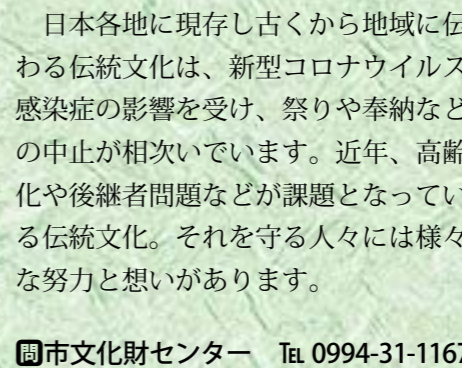
高隈中津神社の鉤引き祭



若葉棒踊り



田崎町のしか祭



上祓川町八月踊り

日本各地に現存し古くから地域に伝わる伝統文化は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、祭りや奉納などの中止が相次いでいます。近年、高齢化や後継者問題などが課題となっている伝統文化。それを守る人々には様々な努力と想いがあります。

岡市文化財センター Tel. 0994-31-1167



特集

想いをつぐ

先人たちが残したものを次世代へ

高須町の刀舞